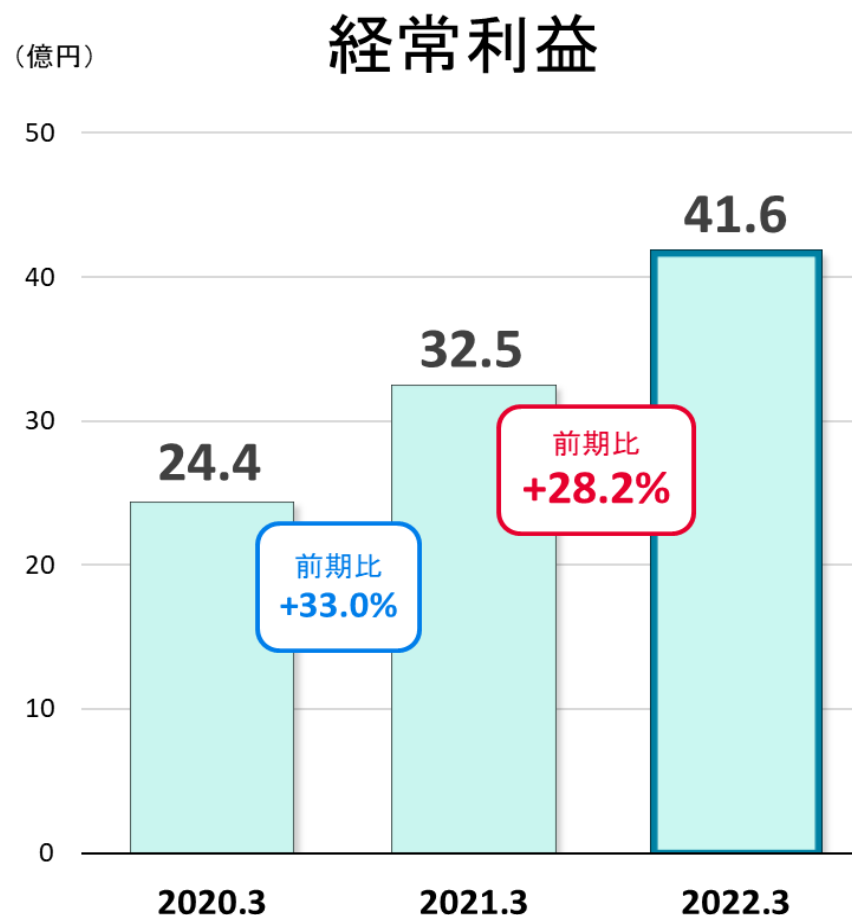
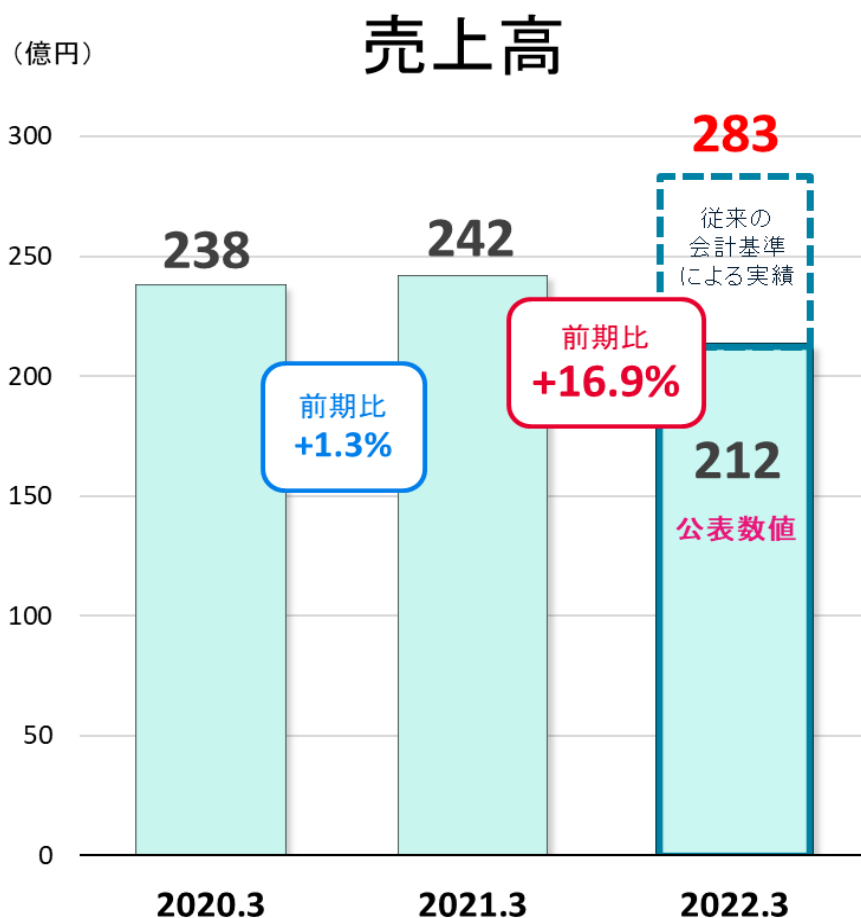
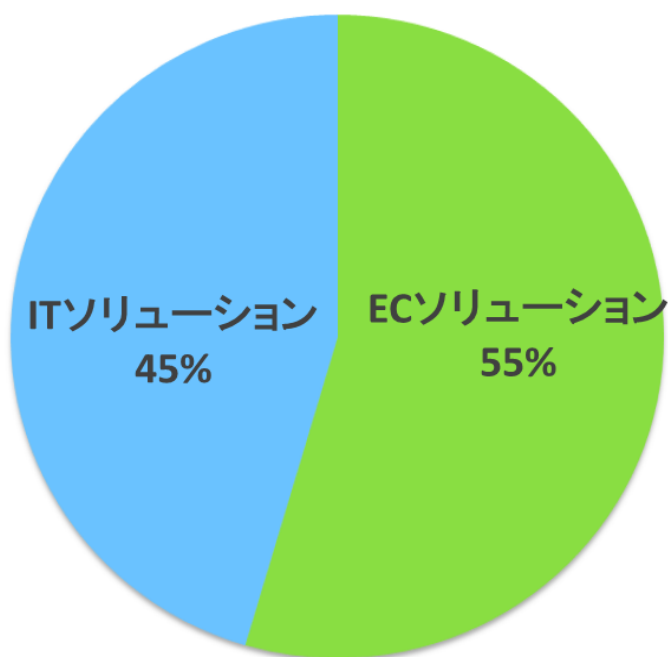


2022年3月期の連結業績決算発表！



2022年3月期 売上高の構成割合

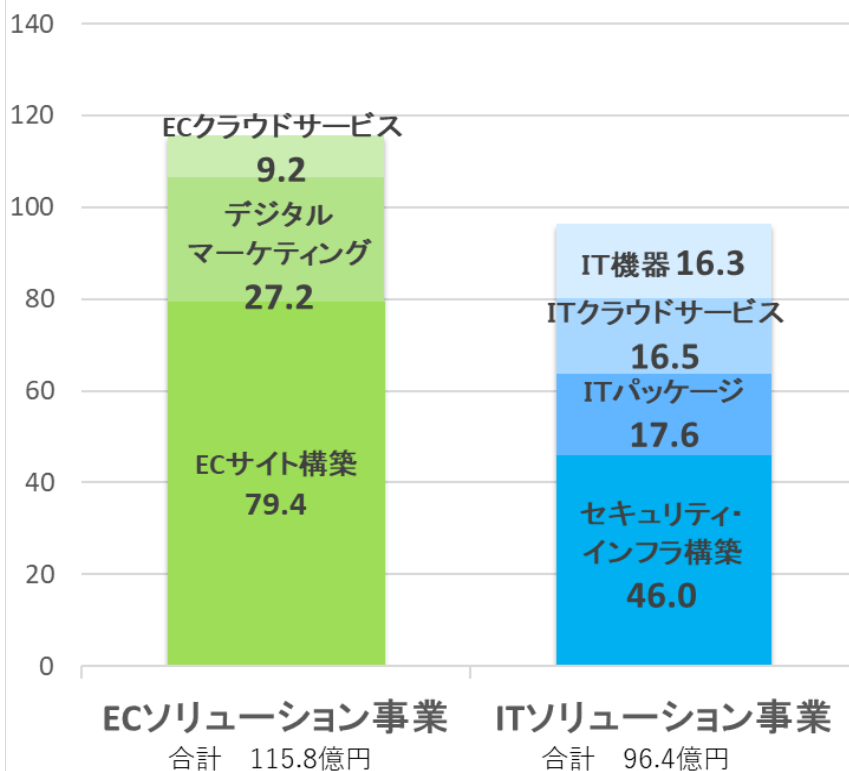
売上高（構成比）



合計 212.2億円

売上高（事業別）

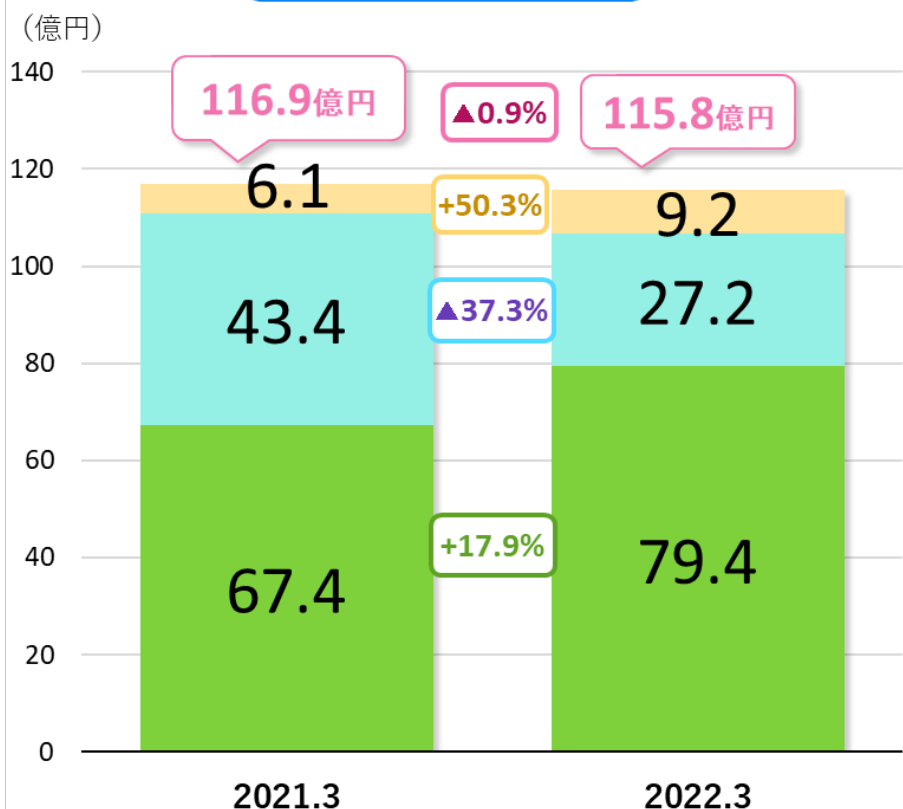
（億円）



（注）当社は2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の売上高は当該会計基準等を適用した後の金額の割合となっております。

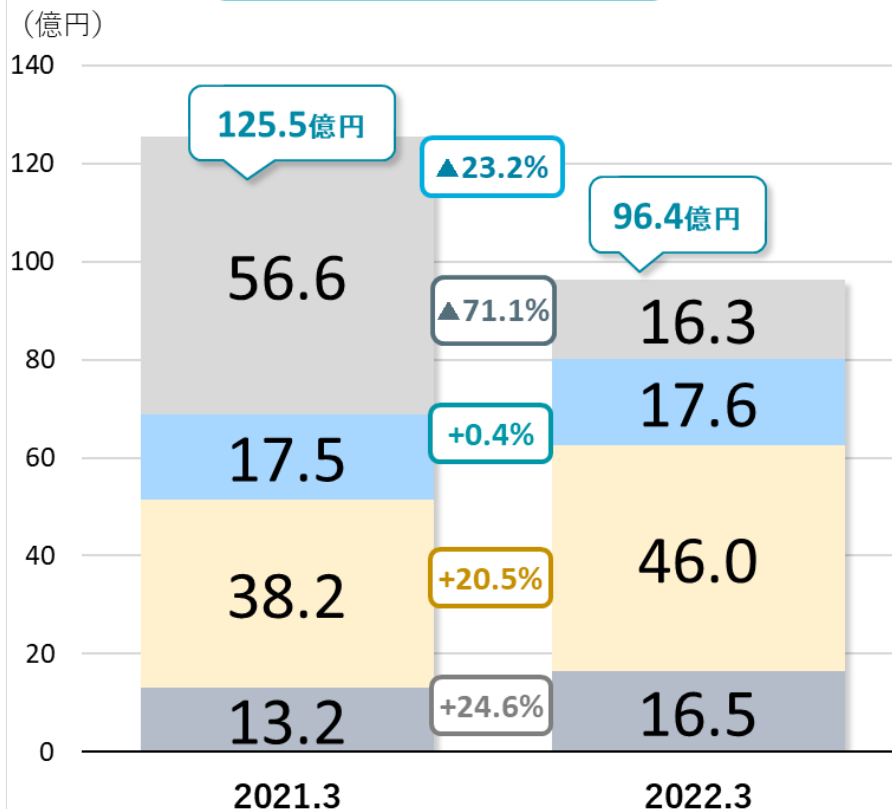
事業セグメント別売上高比較 2022年3月期

ECソリューション事業



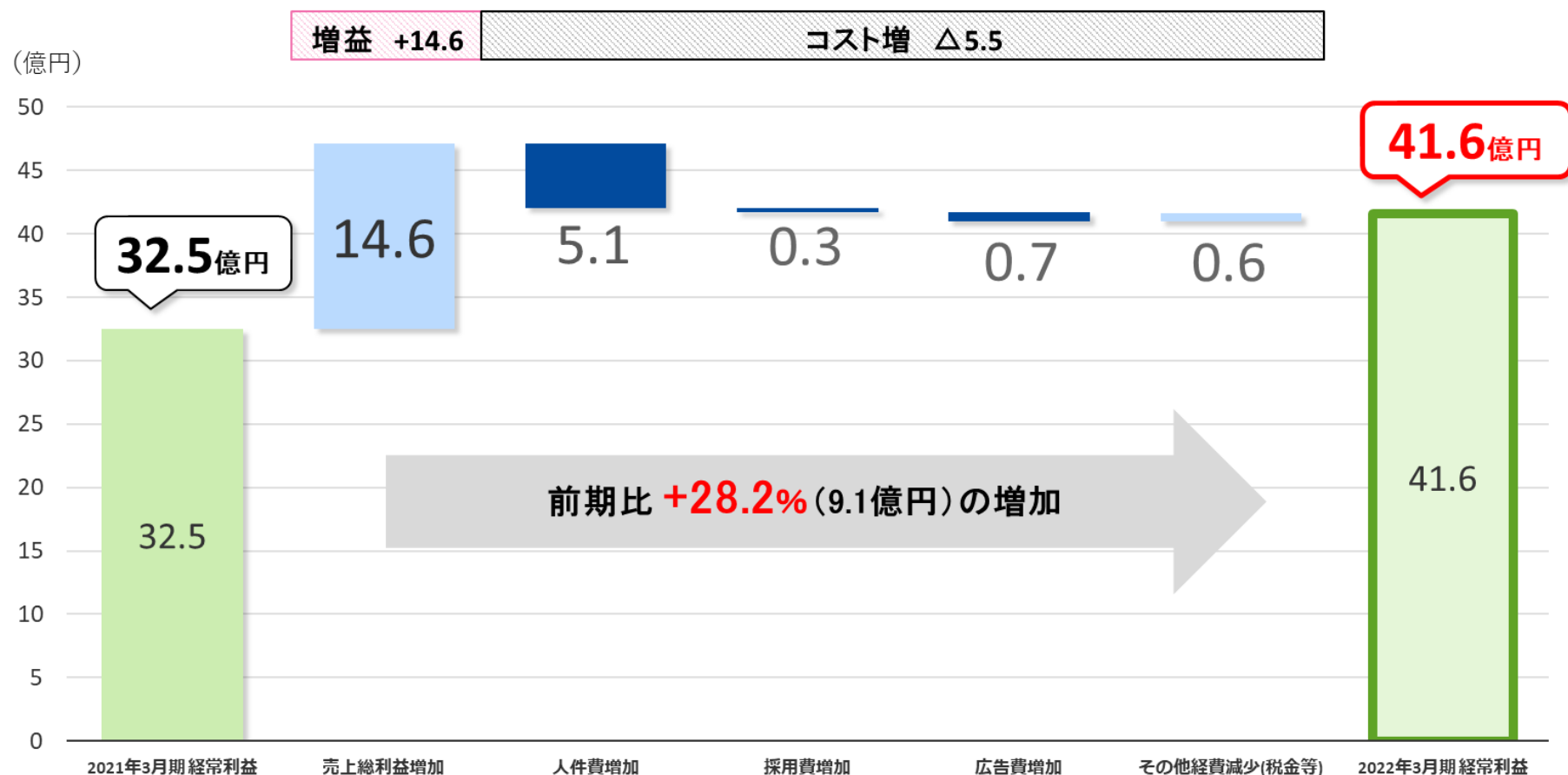
■ ECサイト構築 (ecbeing) ■ デジタルマーケティング ■ クラウドサービス
※当期は会計基準の変更後の売上、前期は会計基準変更前の売上となります。

ITソリューション事業



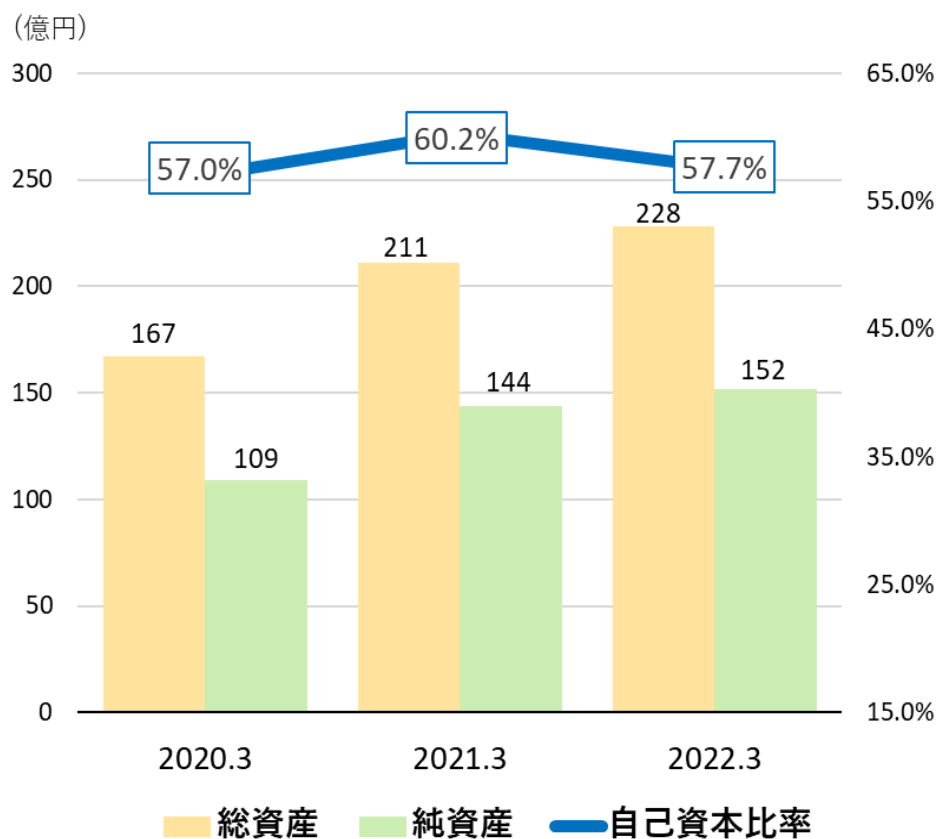
■ ITクラウド ■ セキュリティ・インフラ構築 ■ パッケージ ■ IT機器販売
※当期は会計基準の変更後の売上、前期は会計基準変更前の売上となります。

経常利益の増減要因 2022年3月期

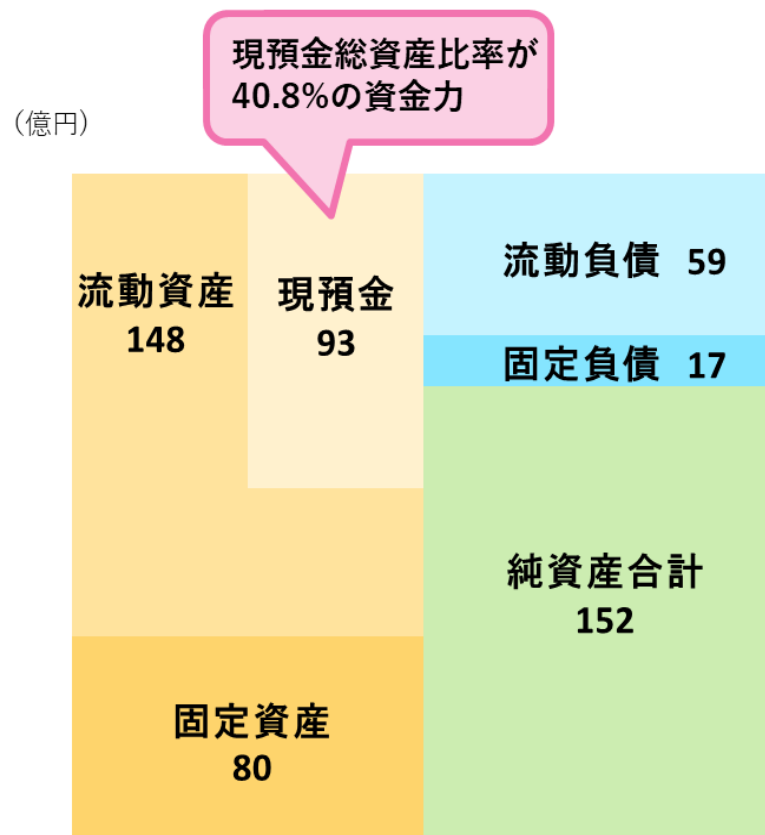


財務状況(2022年3月期)

BS (貸借対照表) 推移

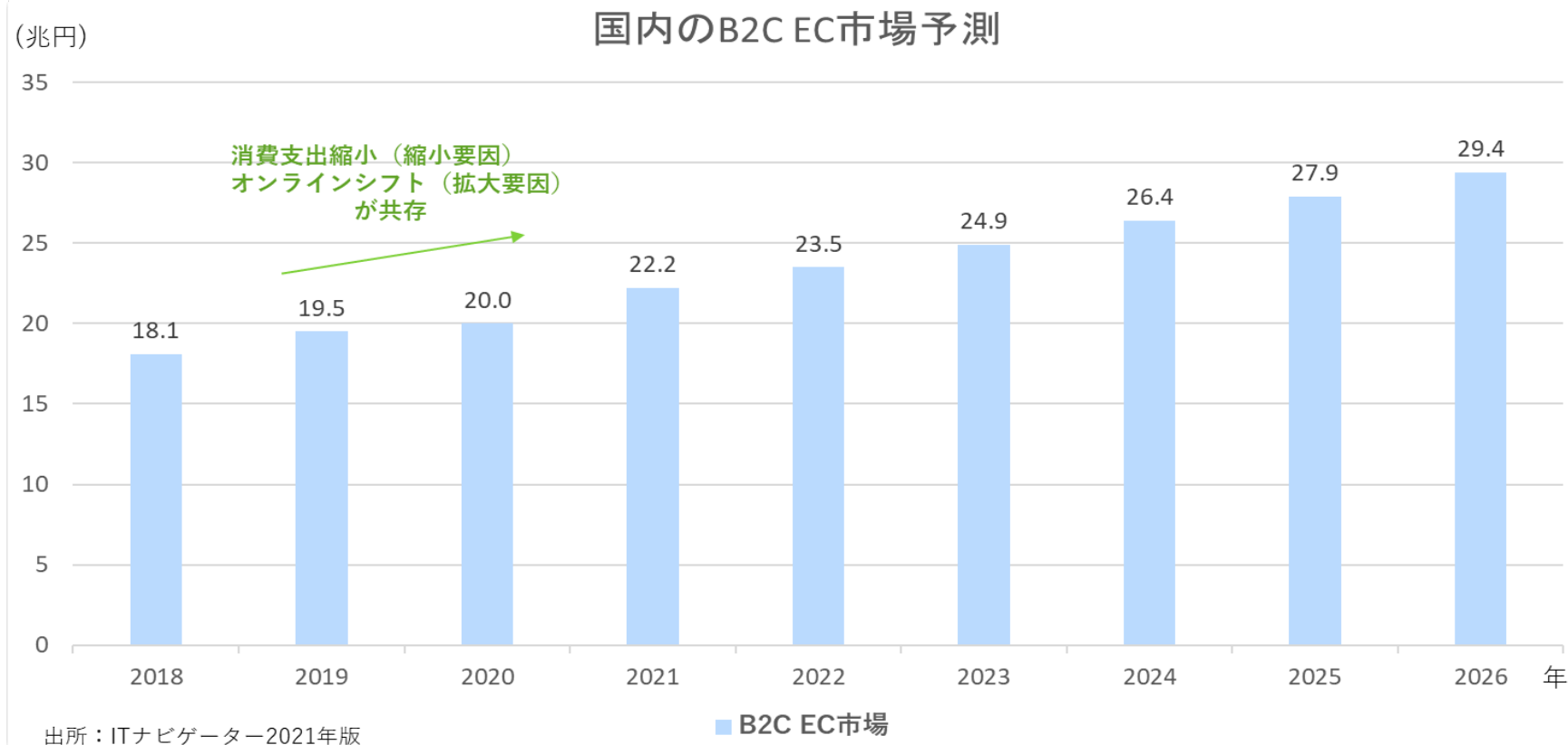


BS内訳 (2022年3月期)

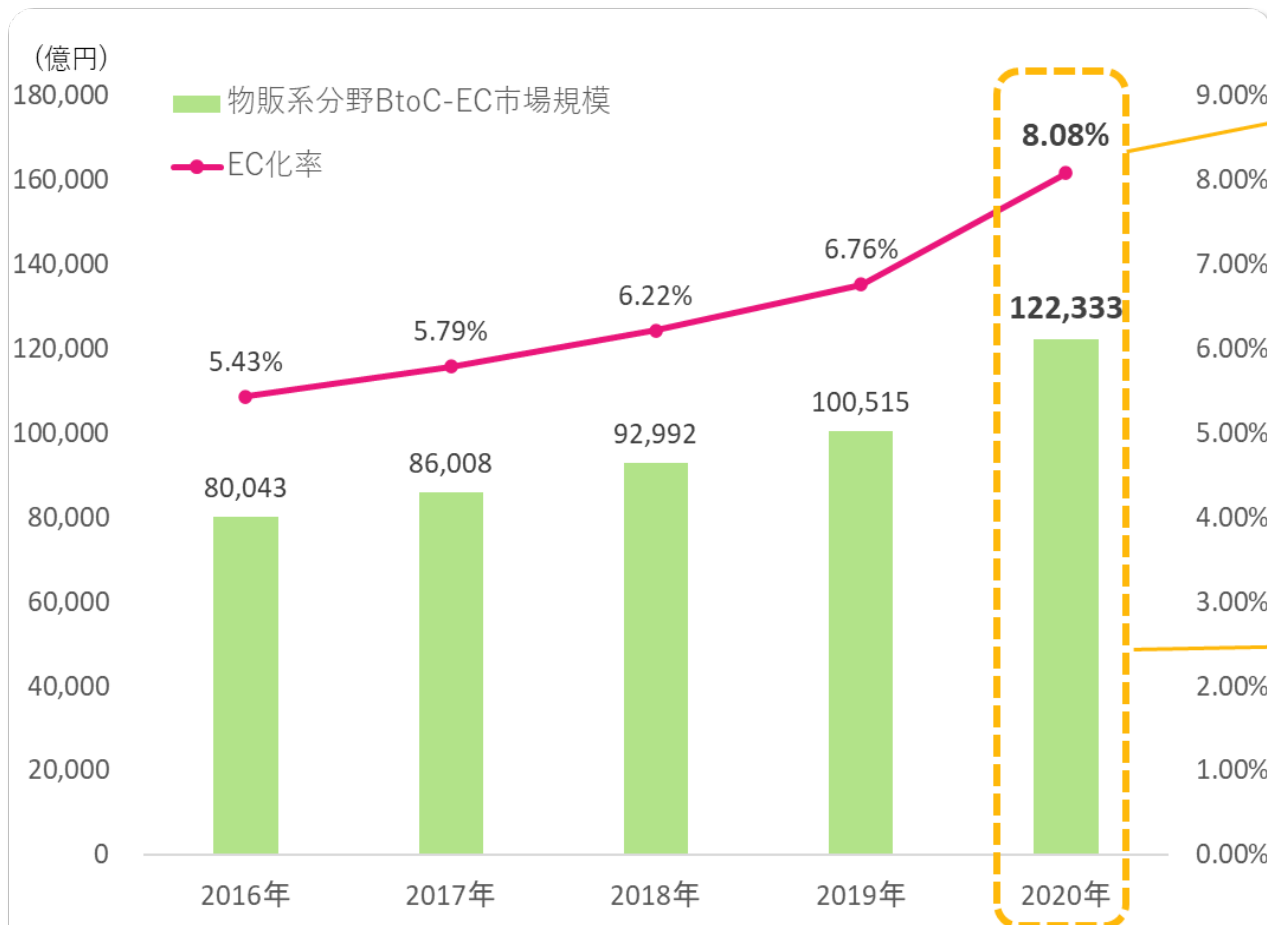


EC市場への追い風

2020年は消費支出自体の縮小とオンラインシフトの拡大が同時に進んだ結果、2019年から見ると緩やかな拡大に。2026年には29兆円の見通し



市場環境（EC市場規模）



出所：2021年7月 経済産業省「電子商取引に関する市場調査」

EC化率

前年から**1.32%**上昇
8.08%へ拡大

EC市場

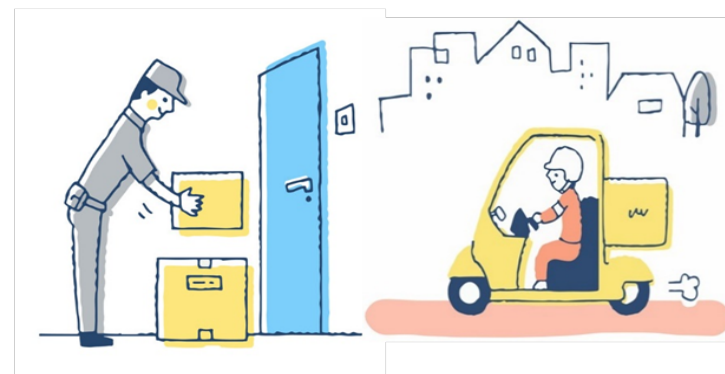
前年から
2兆1818億円増加
(前年比+**21.7%**)

我々が考える今後のEビジネスの動向



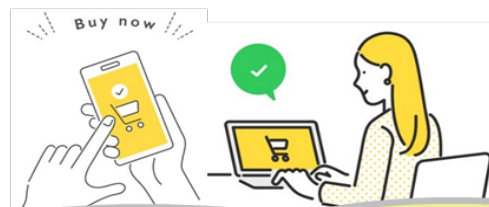
現状

- ・原油価格・原材料費の高騰
- ・小売り・流通の店舗閉店の増加
- ・在宅勤務・テレワークによる飲食店の回復鈍化
- ・新型コロナウイルス変異株の感染拡大



- ・DX、クラウド、IoT時代
- ・5Gの推進による技術革新
- ・デリバリーサービスの増加
- ・ネット通販の利用増加

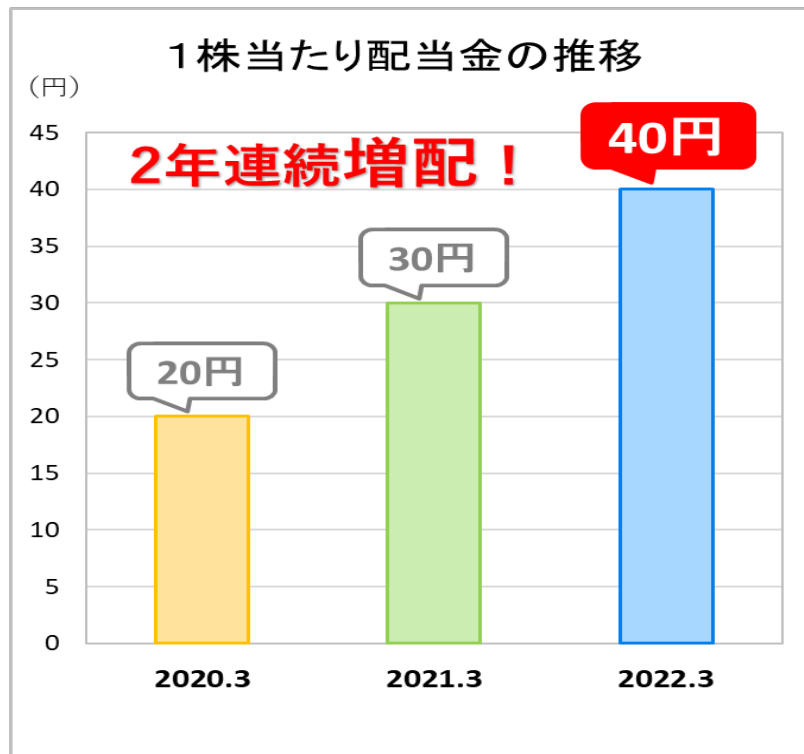
企業が生き残るためには
売り上げが必要



IT投資拡大

Eビジネスは本格拡大期へ突入

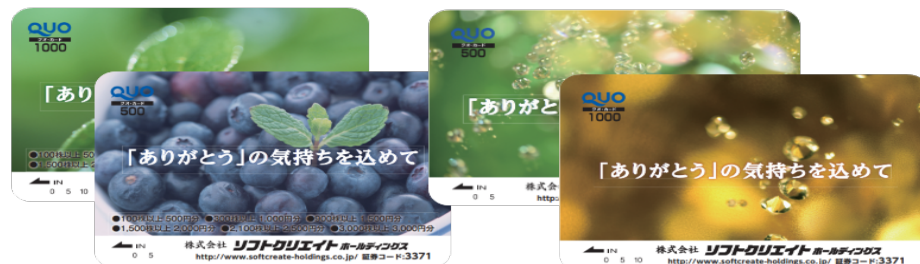
配当金



株主優待 (QUOカード)

必要株数	株主優待 (年間)	長期保有優待
100株以上	1,000円分	500円分
300株以上	2,000円分	
900株以上	3,000円分	1,000円分
1,500株以上	4,000円分	1,500円分
2,100株以上	5,000円分	
3,000株以上	6,000円分	2,000円分

※長期保有優待：2年超継続保有（3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で連続5回以上記載）の株主には追加進呈（3月）



【今後のIRスケジュール】

- 2022年8月26日(金)、27日(土)：日経IRフェア2022 in 東京ビックサイト出展（予定）
- 2022年9月15日(木)：個人投資家様向けIR説明会開催 in 名古屋（予定）

本資料は、経営戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料は、現時点における情報に基づき判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。